

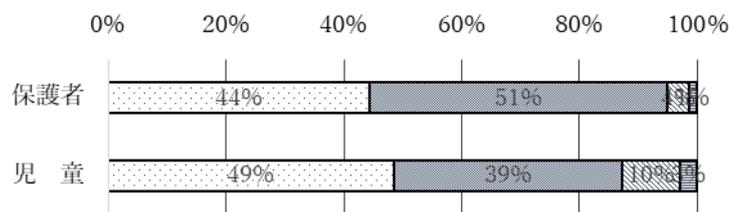
令和4年度 府中第四小学校に関する学校評価アンケート 全校児童・保護者の集計結果

7月に実施しました学校教育に関するアンケートにご協力いただきありがとうございました。今回の学校評価アンケートでは、465枚のアンケートを回収させていただきました。回収率は93%でした。皆様からのご回答を参考として、これからの教育計画や教育活動へと反映させて、四小教育の充実・発展へとつなげていきます。今後も御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

(1) 児童の学校生活

保護者：児童は、楽しく学校生活を送っている。

児童：学校へ行くのが楽しい。



□とてもよい ■よい ▨あまりよくない ▩よくない ■分からない

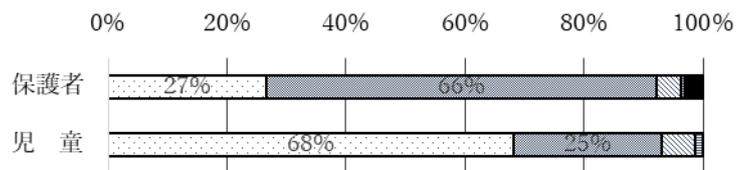
(1) 子供の学校生活

「学校へ行くのが楽しい」という項目では、昨年度とほぼ変わらず、多くの保護者の皆様や児童から肯定的な回答を頂きました。

(2) 学校行事

保護者：保護者会や個人面談、学校行事などの時期、回数は適切である。

児童：行事（運動会、たまフェス、社会科見学など）に積極的に参加している。



□とてもよい ■よい ▨あまりよくない ▩よくない ■分からない

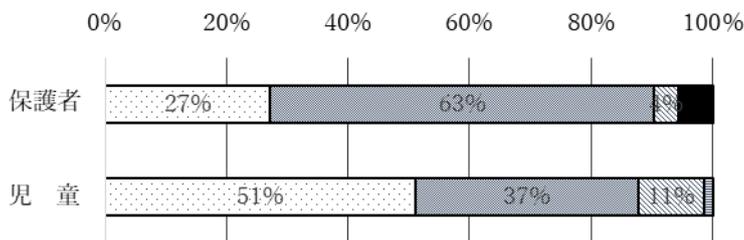
(2) 学校行事

約8割近くの保護者の皆様や児童から、肯定的な回答をいただきました。今年度は、5月に1回、人数制限ありでしたが授業参観を行うことができました。今後とも、状況に合わせて、実施方法を検討していきます。

(3) 安全教育

保護者：学校は、児童の安全（不審者への対応、安全教育等）について十分な対応をしている。

児童：登下校や日々の生活の中で安全に気をつけている。



□とてもよい ■よい ▨あまりよくない ▩よくない ■分からない

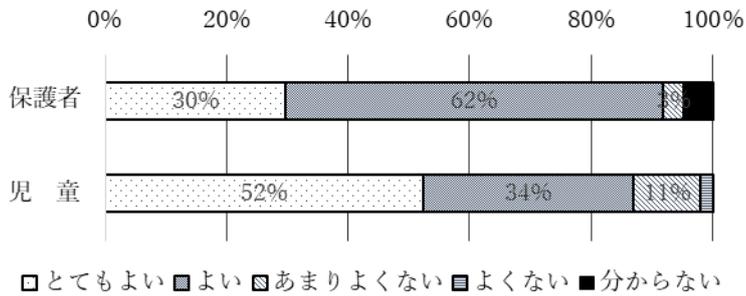
(3) 安全教育

概ね高い評価をいただいておりますが、今後も地域や保護者の皆様のご協力を得て、登下校の見守りや声かけ、非常時の情報収集で協力し合い、安全教育の推進に努めていきます。また、緊急時の対応方法等については、ホームページのトップページに常時提示しておきます。

(4) 感染症防止策

保護者：学校は、感染症拡大防止策を適切に実施し、児童の安全・健康について十分な対応をしている。

児童：新しい学校生活のきまり（手洗いや消毒、マスク着用、友達とくっつかないなど）を守って生活している。



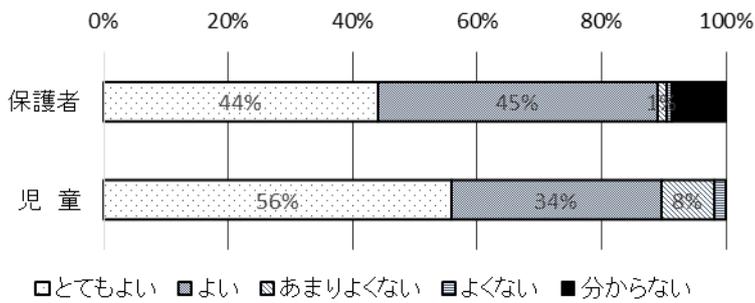
(4) 感染症防止策

保護者の方々から9割以上の肯定的な回答を頂くことができました。感染症対策についての手紙等をきちんと読んでいただいたり、行事等で感染症対策にご協力いただいたり等、大変ありがとうございます。児童にも、指導を継続し、「新しい学校生活」の徹底を図っていきます。

(5) 児童や保護者からの相談への対応

保護者：学校は、問い合わせや相談に誠実に対応している。

児童：先生は困ったときにすぐに相談にのってくれたり、声をかけたりしてくれる。



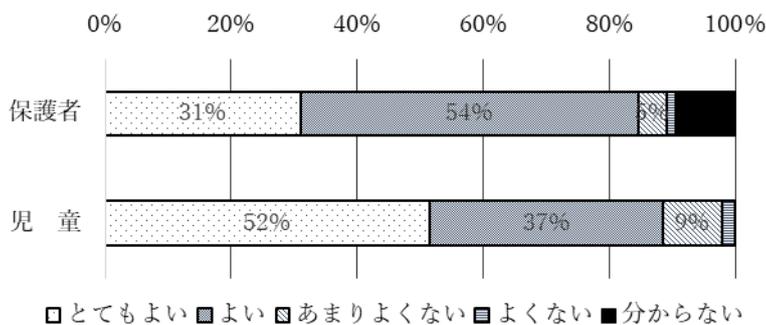
(5) 相談への対応

昨年度と同様児童からは、9割近い肯定的な意見でしたが、保護者の皆様からの相談への対応については、4ポイント下がっています。今後も保護者の皆様や児童の気持ちに寄り添い、誠意をもってきめ細かく対応していきたいと思えます。

(6) 環境整備

保護者：学校は、校舎内外の環境の整備と美化に努めている。

児童：学校で、そうじや係、当番の仕事を進んでいる。



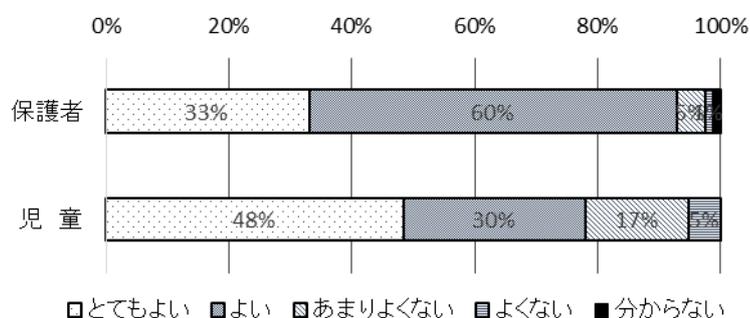
(6) 環境整備

昨年度と比較すると保護者・児童ともに2～5ポイント肯定的な回答が低くなっています。感染症拡大への懸念から児童による校舎内外のゴミ拾い活動やクリーンアップ活動等が昨年度より実施できずにいます。環境美化に対する意識の向上を教職員・児童一体となって図ってきたいと思えます。

(7) 情報発信

保護者：学校は、保護者に学校だよりや各種通信類、ホームページ、保護者会等で適切に情報を提供している。

児童：学校の出来事を家の人にもよく話している。



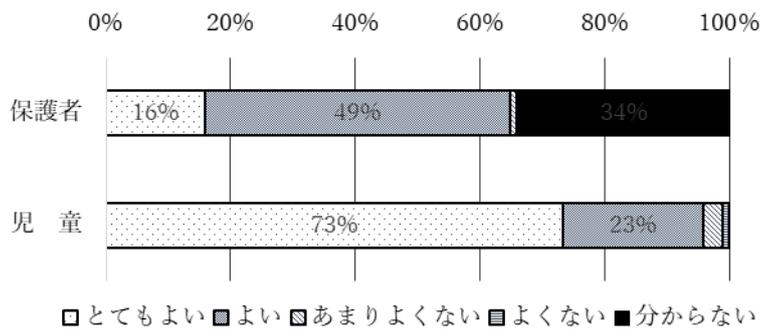
(7) 情報発信

保護者の皆様も児童も、肯定的な5ポイント程度高くなっています。今年度はメールでの発信も多くさせていただきましたが、今まで以上に学校だより、学年だより等で情報発信に努めていきます。今後スマート連絡帳で学校からの配布物を配信します。

(8) 心の成長

保護者：学校は、いじめに対応し、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。

児童：友達を大切にしている。



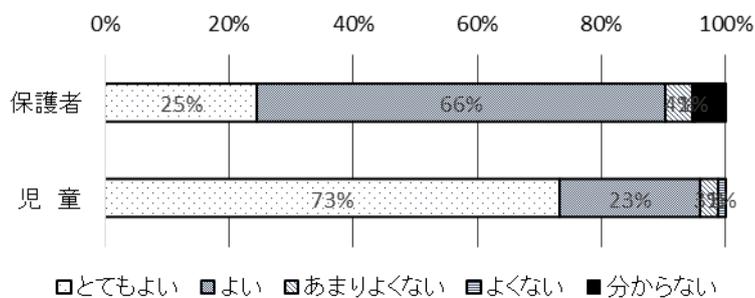
(8) 心の成長

いじめのない学校づくりへの取組として、毎学期のいじめアンケート及び聞き取り調査、道徳教育の推進による心の教育の充実、生活指導上の課題に対する職員間での情報共有、いじめ対策委員会の設置等を行っています。今後も、こうした取り組みを継続し、「いじめのない学校づくり」を目指します。

(9) 学習内容の理解

保護者：学校は、児童が教科学習の基礎的・基本的な内容を身に付けるように指導している。

児童：授業はよく分かり、楽しい。



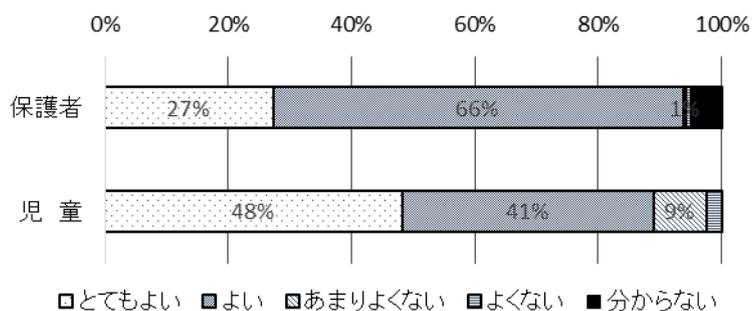
(9) 学習内容の理解

学習内容の理解については、肯定的な回答が、児童は96%に対し、保護者の皆様は86%となっています。前回と逆転しています。児童にとって理解度が上がったことに喜びを感じます。今後とも、少人数算数体制での徹底や、理解できるまで粘り強く取り組ませる指導を継続していきます。また、学校では、前期の指導を振り返り、「授業改善プラン」を作成しています。ホームページで閲覧することができます。

(10) 基本的な生活習慣

保護者：学校は、児童が集団生活における基本的な生活習慣を身に付けるよう指導している。

児童：学校や学級のきまりを守っている。



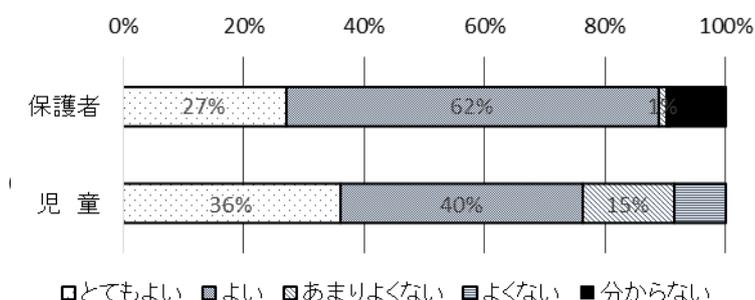
(10) 基本的な生活習慣

基本的な生活習慣については、保護者、児童ともに9割近くの肯定的な回答いただきました。ここ数年、挨拶の習慣が身に付きつつあります。半面、持ち物の管理、廊下の歩行等の課題も目立ちます。また、朝は8時15分までに登校となっていますが、時間を過ぎてから登校してくる児童も目立ちます。今後も生活習慣の徹底に力を尽くしていきます。

(11) 心の教育

保護者：学校は、児童が正しい道徳性を身に付けるように指導している。

児童：道徳の授業の中で学んだことを、生活の中で考えたり、生かしたりすることがある。

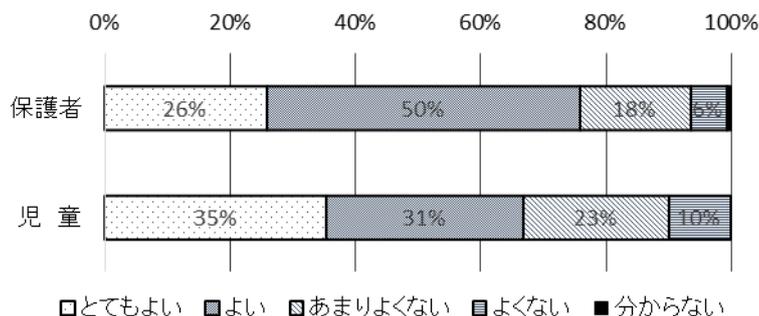


(11) 心の教育

9割以上の保護者の皆様からの肯定的な回答を頂きましたが、児童の意識は7割程度となっています。道徳の授業で学んだことを、自分の生活と関連付けて考えられるようにできるよう、今後も心の教育を推進していきます。

保護者：家庭学習（10分×学年＋10分）の習慣が身についている。

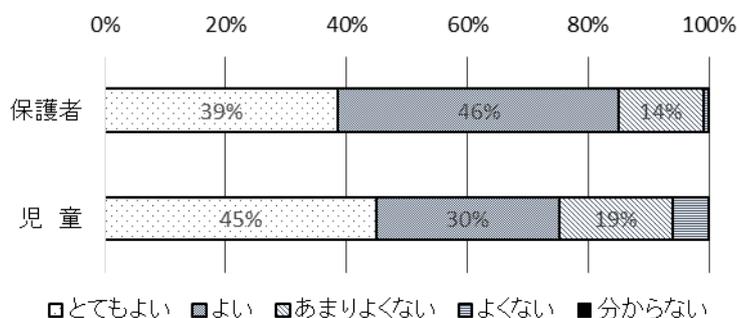
児童：宿題や自主勉強など、家庭学習（学年×10分＋10分）をきちんとしている。



(13) 家庭での生活習慣1

保護者：「早寝、早起き、朝ごはん」の基本的な生活習慣が身に付いている。

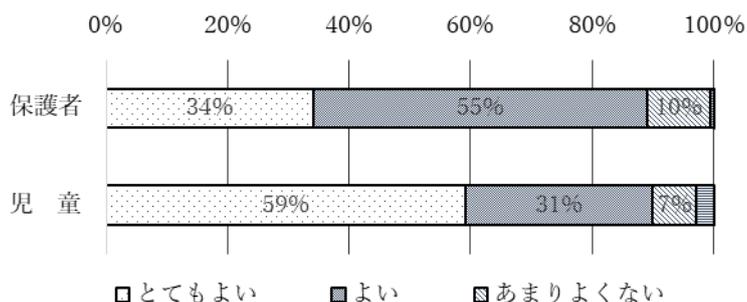
児童：早寝、早起きをして、朝ご飯を食べるようにしている。



(14) 家庭での生活習慣2

保護者：家庭でもしっかりとあいさつをしている。

児童：進んであいさつや返事をしている。



(12) 家庭学習

家庭学習への取組については、昨年度とほぼ同様です。家庭学習を習慣化は、基礎学力の定着にもつながっていくことはもちろんのこと、中学校にもつながっていきます。家庭学習への声かけを保護者の皆様にもお願いするとともに、学校でも習慣化できるような宿題を進めていきたいと思っております。

(13) 家庭での生活習慣1

8割強の保護者の皆様が肯定的な意見であるのに対して、児童の2割強が否定的な意見でした。高学年に限らず、夜遅くまでゲームをしていたり、配信動画を見ていたりする児童も多いようです。今後も、学校でも正しい生活習慣を身に付けることの大切さを呼びかけていきます。

(14) 家庭での生活習慣2

本校では、ここ数年、生活目標でのあいさつの大切さを重視しています。その成果もあり、保護者の皆様・児童ともに、昨年度から継続して9割近くの肯定的な回答を頂きました。今後も活動を継続し、さらに互いに気持ちのよい挨拶への意識を高めていきたいと思っております。